

## 茨城県神栖市における地下水モニタリング(春季、夏季)の結果について

## 1. モニタリングの概要

地下水の水位測定は毎月、ジフェニルアルシン酸等の分析は季節ごとに実施している。

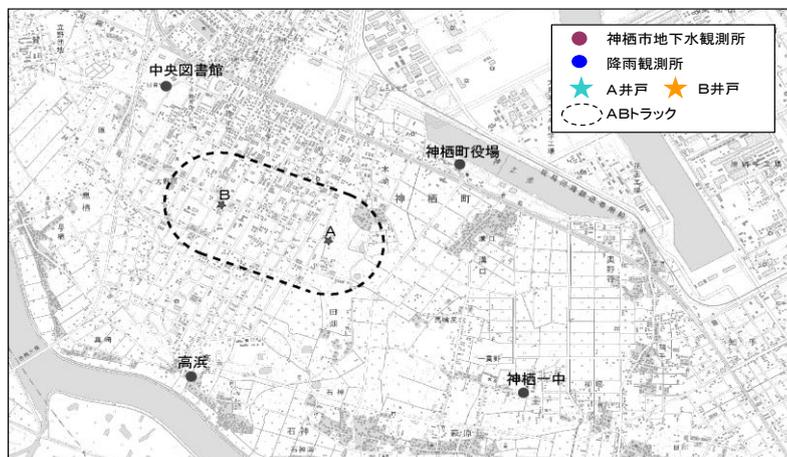
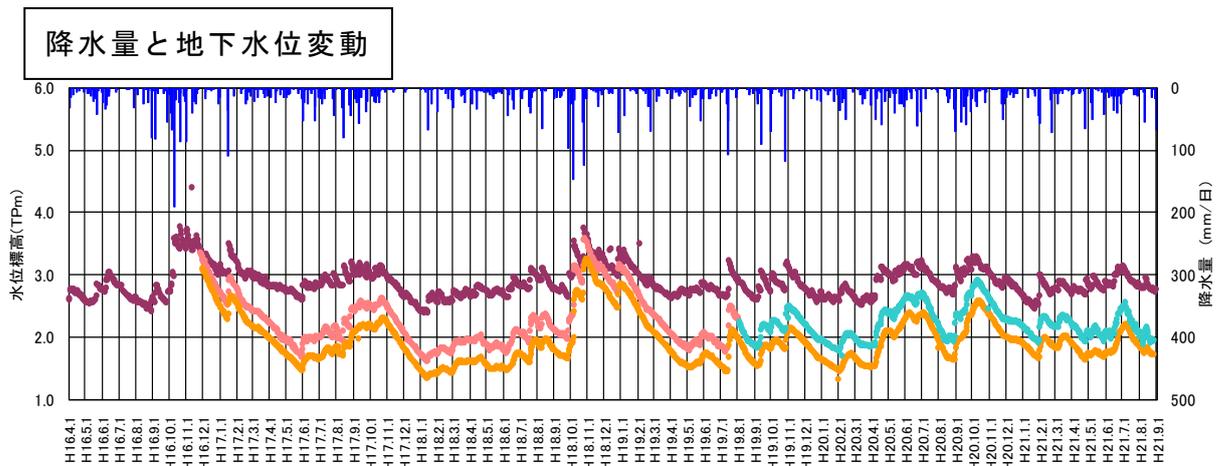
平成21年春季は、高濃度汚染対策(本格稼働6月1日から)の直前に採水しており、平成21年夏季は高濃度汚染対策開始約2カ月後に採水したデータとなる。

## 2. モニタリングの結果

## 1) 地下水位の測定結果

地下水位は、平成20年10月11日に、A井戸付近で水位標高2.92mを示して以降、低下傾向にあり、平成21年2月から現在まで、1.96~2.56mの間で、降雨に伴う変動を繰り返している。

平成21年8月26日時点では、A井戸付近で水位標高1.96m、B地区で水位標高1.73m程度となり、その差は0.23mとなっている。



※ 抜管に伴い水位計をNo.13→No.36に移設。(H19.8.4)

水面形状はこれまで同様、A井戸の北側観測孔（M-11、M-14、M-15）の水位が高いものの、AB間で見れば、A井戸からB地区に向かう流れが見られる。

ABトラック南西および西地域についても、B地区から南西および西地域の地下水流れは、常陸利根川方向に向かうことが確認される。

